平成31年度の歴史分野におけるミニ展示などの概要報告

木村 弘樹

はじめに

昨年度(平成30年度)は、明治150年にちなみ当館においても歴史分野の企画展として、「相模原にもある幕末・維新のヒーローたちの痕跡」を開催した。今年度については、当館の特別展示室を広く使った歴史分野の企画展は、予定されていなかったが、令和改元など節目を迎える歴史的出来事などがいくつかあった。そこで、今年度は、主にミニ展示という手法で、相模原の歴史にかかわる節目の出来事などの紹介を行った。本稿では、そのミニ展示などの概要を報告することとする。

1. ミニ展示「相模原に来た皇族」(写真1・2)

今年度は5月1日に「令和」改元となり、新天皇陛下が即位された。そのため、多くの方が天皇家や皇室に関心を持たれる様子が見受けられた。そこで、ミニ企画展「相模原に来た皇族」を5月1日から6月2日まで開催し、常設展示室出口付近にて、間口180cm、奥行き90cmの展示ケースと幅180cm、高さ120cmの有孔ボードにて展示を行った。

主な展示内容は、戦前の昭和天皇の陸軍施設への行幸、 戦後から昭和40年代の現上皇陛下(皇太子時代)の企業、 ダムなどへの行啓、平成に入っての秋篠宮殿下の全国都 市緑化フェアや国民体育大会、現天皇陛下(皇太子時代) の石老山への来訪など表1のとおりである。各来訪時の 状況を写真パネルで紹介したり、関連する資料を展示す るとともに、期間中に3回ほど展示解説を行った。

このミニ展示により相模原への皇族の来訪を紹介することで、昭和初期の軍都相模原、戦後のダム建設や工場誘致、都市整備後の平成期の大きなイベントなど、昭和以降の相模原の歴史における象徴的な出来事、場面を知っていただく良い機会になったと考えている。

2. ミニ展示「北条早雲と相模原」(写真3・4)

市内南区当麻にある無量光寺には、戦国大名として名高い小田原北条氏の祖北条早雲こと伊勢宗瑞の史料が残されている。その北条早雲が2019年に没後500年の節目となることから、「北条早雲没後500年関連事業」を企画

し、その第1弾としてミニ展示「相模原と北条早雲」を 8月1日から9月1日まで、間口180cm、奥行き90cmの 展示ケースにて開催した。(注1)

このミニ展示では、無量光寺から借用した永正9年 (1512)の「伊勢宗瑞制札」(複製)のほか、当時の相模 原周辺での出来事や、もう一つ市内に残された永正15年 (1518)の「伊勢宗瑞制札」の写真パネルなども紹介した。

期間中2回開催した展示解説にも20名前後の参加があり、その結果、見学者に戦国時代はじめの相模原の歴史に関心をもっていただけたと考えている。

3. ミニ展示 「文化九年制作 相州 三増峠図」 (写真5・6)

「文化九年制作 相州 三増峠図」は、永禄 12 年(1569)に隣町の愛川町三増で繰り広げられた小田原北条氏と甲斐武田氏の激戦「三増峠の戦い」(「三増合戦」とも)について記された絵図である。この絵図は、文化9年(1812)に作者が三増周辺を訪れ、村民の案内のもと三増付近の地形及び合戦に関する様子や伝承などを描いたものである。また、北方3キロにある市内緑区の津久井城も描かれていることから、戦国時代及び江戸時代後期の相模原周辺の歴史を知る貴重な資料でもある。

2019年は三増峠の戦いからちょうど 450年にあたり、その節目として 9月14日から10月20日まで特別展示室内で開催したのが、このミニ展示である。(注2)ミニ展示では、絵図内の記述の解説のほか、三増周辺の史跡や、戦いの前後に武田軍が通ったとされる相模原市域の伝承地などを写真パネルで紹介した。

また、展示期間中2回開催した展示解説には各回とも20人以上の多くの参加があり、その結果、参加者に戦国時代及び江戸時代後期の相模原の歴史に関心をもっていただけたと考えている。

4. 尾崎咢堂記念館 資料公開及びミニ企画展

市内緑区又野にある当館の所管施設「相模原市立尾崎 咢堂記念館」は、同地出身で明治期から昭和前半まで60 年以上にわたり衆議院議員として活躍した尾崎行雄(号 咢堂)に関する資料や活躍を紹介している施設である。 この尾崎咢堂記念館では、2回の資料公開と、1回のミニ企画展を開催したので、各展示に分けて次のとおり記すこととする。

(1) 資料公開① 額「互譲共援」(写真7・8)

額「互譲共援」は、尾崎咢堂94歳(昭和27年=1952年頃)の時の書で、かつて旧津久井町の議場に掲げられていた尾崎咢堂の貴重な資料である。「互譲共援」には、戦後の混乱期に政党がお互い譲り合って挙国一致の内閣をつくっていく必要を唱えていた咢堂の思いが込められていると考えられる。この額の展示は、6月1日から7月14日まで、尾崎咢堂記念館の多目的室内にて、壁面に掲げる状態で行った。

展示期間中、旧津久井町の方が多く集まる機会などもあり、地元ゆかりの資料の紹介に喜んでいただけた。また、旧津久井町にもたらされた資料経過についても知ることができ、当館にとっても貴重な情報を得ることができた。

(2) 資料公開② 「戦後の日記帳」(写真9・10)

資料公開②「戦後の日記帳」では、昭和20年(1945)から同25年(1950)のうち日記帳5点を幅180cmの展示ケースに収め、8月31日から10月6日まで、尾崎咢堂記念館玄関付近にて展示した。これらの日記帳は、尾崎咢堂の四男行輝氏の孫行和氏が保管されていた貴重な資料である。

今回はその中でも、昭和20年8月15日の降伏・終戦に関する記述や、昭和21年の新憲法発布に関するレコードの吹込みの記述個所などを開き、当館所蔵の同年吹込みの演説レコードとともに展示した。また、昭和21年以降の表紙には、西暦表記に加え「新日本●年」と記され、戦後の日本が新しい時代になることを咢堂自身強く意識している大変興味深い表記である。

この資料公開により、一部であるが80歳代後半から90歳前後の尾崎咢堂の活動のみならず、戦後直後における国内の状況を知る貴重な資料を見学者に紹介できたと考えている。

(3) ミニ企画展「尾崎咢堂と歴代天皇」(写真 11・12)

尾崎咢堂記念館では、入館者の増と郷土の偉人尾崎咢堂の業績を広く伝えるため、平成29年度より地元の任意団体「尾崎行雄を全国に発信する会」への委託事業として、近現代史講演会2回と企画展1回を開催している。

2019年の企画展は、新天皇即位にちなみ、尾崎咢堂と明治、大正、昭和の歴代天皇とのエピソードなどを紹介するミニ企画展「尾崎咢堂と歴代天皇」を図1のとおり開催した。開催期間は10月26日から12月8日までで、多目的室の約半分を使用し、幅180cmの展示ケース2台と幅120cmの有孔ボードパネル8枚に、昭和天皇との拝

謁について記述した日記帳や、明治、大正、昭和天皇と のエピソードに関連する著書、写真などを展示した。

また、旧津久井郷土資料室の旧蔵資料のうち、明治、 大正、昭和天皇にかかわる皇室関連ポスター7点もあわ せて展示した。

展示期間中には、市教育委員会文化財保護課所管の文化財研究協議会による文化財探訪にあわせたギャラリートークなど2回ほど展示解説を行ったが、いずれも参加者は10人以下であった。しかし、来場された方の多くは、新天皇即位というタイムリーな話題(注3)のため、熱心に展示をご覧になる方が多く、貴重な資料と尾崎咢堂の紹介を図ることができたと考えている。

おわりに

今回は、歴史分野における博物館内でのミニ展示3本と、尾崎咢堂記念館での資料公開・ミニ企画展の3本、あわせて計6本の普及事業について記した。近年は、博物館資料の活用が叫ばれており、筆者も適切な保存を前提とした上で資料の活用を大いに図るべきと考えている。そのため、館内や出前講座においても、安全に支障のない範囲で実物資料を見てもらえるよう心掛けている。

また、これらの普及事業の開催に伴い、市の広報、ホームページ、チラシ、SNS などで PR を行うことで、情報発信の機会としては多くなる。例えばこれまで数回のみであった尾崎咢堂記念館の普及事業は、2回の資料公開を行ったことだけでも情報発信数は大いに増えたことと考えられる。

今後も資料活用・公開による普及事業を展開し、情報 発信を行うことで、市民の方に郷土への愛着を持っても らえる機会が数多く図られるよう取り組んでいきたい。

注

- (1) 北条早雲没後 500 年関連事業は、ミニ展示のほか無量光寺等への探訪事業(台風接近のため中止)や、連続講演会(筆者及び外部講師による全3回)を開催した。
- (2) 同じ特別展示内において、天文細密画家岩崎賀都彰氏の作品 25 点を展示したミニ展示「岩崎賀都彰が描いた宇宙」や、学芸員資格取得のため当館で実習を行った大学生らによる「博物館実習生展」も同時に開催された。
- (3) 展示開始直前の10月22日には新天皇の即位式が行われた。

52 木 村 弘 樹

年 代	場所等	皇族(現呼称)
昭和 12(1937)	陸軍士官学校卒業式に行幸(以後5度 同卒業式に行幸)	昭和天皇
昭和 14(1939)	臨時東京第三陸軍病院(現 国立病院機構相模原病院)に行幸	昭和天皇
昭和22(1947)	相模湖・相模ダムに行幸 (上皇陛下も学習院時代に遠足で相模湖来訪 年不詳)	昭和天皇•皇后両陛下
昭和37(1962)	淵野辺5丁目の富士製鉄(現 新日本製鐵)研究所に来訪	上皇陛下(皇太子時代)
昭和39(1964)	相模湖で開催された東京五輪カヌー競技を観覧	常陸宮・同妃両殿下
昭和40(1965)	城山ダム、本沢ダム、城山発電所に来訪	上皇陛下(皇太子時代)
平成 4(1992)	全国都市緑化かながわフェア、相模川ふれあい科学館に来訪	秋篠宮皇嗣•同妃両殿下
平成 10(1998)	かながわ・ゆめ国体(第53回国民体育大会)の各競技会場に来訪	秋篠宮皇嗣•同妃両殿下
	(秋篠宮殿下・・・競泳・ボート、常陸宮殿下・・・馬術、故桂宮殿下・・・ホッケー)	常陸宮・同妃両殿下、故桂宮殿下
平成27(2015)	緑区石老山に登頂	今上天皇(皇太子時代)

表1 相模原に来た皇族年表



写真 1 ミニ展示「相模原に来た皇族」展示状況



写真2 ミニ展示「相模原に来た皇族」展示解説



写真3 ミニ展示「北条早雲と相模原」展示状況



写真 4 ミニ展示「北条早雲と相模原」展示解説



写真 5 ミニ展示「相州 三増峠図」展示状況



写真 6 ミニ展示「相州 三増峠図」展示解説



写真 7 尾崎咢堂記念館資料公開① 額「互譲共援」展示状況



写真 8 尾崎咢堂記念館資料公開① 額「互譲共援」見学状況



写真 9 尾崎咢堂記念館資料公開② 「戦後の日記帳」展示資料



写真 10 尾崎咢堂記念館資料公開② 「戦後の日記帳」展示状況



写真 11 ミニ企画展「尾崎行雄(咢堂)と歴代天皇」展示状況



写真 12 ミニ企画展「尾崎行雄(咢堂)と歴代天皇」展示解説



図1 ミニ企画展「尾崎行雄(咢堂)と歴代天皇」ポスター